

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	避難経路の一つとしていた建物東側に住宅が建設され避難経路が限られている。そのため、早期に消防署に相談を行い、経路確保及び各階毎の避難誘導方法の見直しの実施。消防署による助言に基づいた訓練を従来の回数以上行う。	所轄消防署へ相談し助言を受け職員間での検討を行い、新たな防災計画の策定。火災のみならず他の災害に対して被災時の被害を最小限に留められ、且つ迅速に利用者様の避難を行う対応能力の習得。	所轄消防署からの指導・助言を受け避難方法と避難経路について再検討し、新たな防災計画の策定を行う。また、従来の避難訓練のほかに非常用脱出シューターの使用を想定した訓練と夜間を想定した訓練を実施する。	12ヶ月
2	13	災害発生時における地域社会との連携	災害発生後の復旧活動には、自らの復旧が困難な事態も想定されるため、地域の方々からの支援・協力も必要であることを踏まえ、非常時における相互協力関係を構築する。	地元自治会(自主防災組織・消防団等)・民生委員などとの連携を図り、緊急時の協力体制を確立する。地域行事の参加や地域住民へホームの行事を案内し参加頂くことにより「顔の見える関係づくり」を強化して行く。	6ヶ月
3	6	利用者ご家族様への情報発信の強化と地域社会に根差した施設づくり	利用者様のホームでのご様子を従来より多くをお知らせして行く。そのため運営推進会議へ積極的にご家族様の参加をお願いする。また、地域包括支援センター・自治会長を通じ情報発信することで地域に根差したホームにする。	ご家族様・地域包括支援センター・地域の方々へ運営推進会議開催をより一層周知する。特にご家族様への開催通知を複数回案内することで、運営推進会議参加者数を増加させるとともに地域の方(自治会)を通じてグループホームをより知って頂き地域に根差して行く。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。